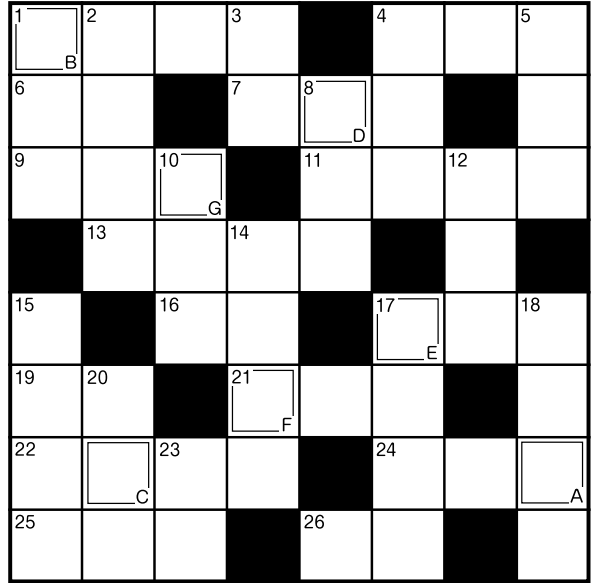


(2023年2月)

ヨコのヒント

- 1 ○○○ワークとは、パソコンなどのICT機器を利用して、自宅などオフィス以外の場所で働くこと。テレワークともいいます。
- 4 改正された○○○・介護休業法。父親も子どもが生まれて8週間以内に最大で4週間の「産休」を取れるようになりました。
- 6 責□、放□、□務、□意。□に共通して入る漢字の読みは？
- 7 走ってはいけません。静かに歩いてください。
- 9 すごろくなどで、駒が最後の場所に進むこと。また、その場所。
- 11 どれもみんな同じである様子を「○○○○的」といいます。
- 13 天皇が位を譲った後も、上皇・法皇として政治を行うこと。
- 16 沈黙は○○。「多くを語らずに、あえて黙っていたほうがよいこともある」という意味のことわざです。
- 17 元禄文化を代表する画家で工芸家の○○○光琳。『紅白梅図屏風』などの作品で知られます。
- 19 地球の衛星。1969年に初めて人類が降り立ちました。
- 21 ある行動を起こすもとになった出来事・きっかけ。あなたが中学受験をしようと思った○○○は何ですか。
- 22 「G7サミット（頂上）」とも呼ばれる主要7か国○○○○会議。2023年は5月に広島市で開催される予定です。
- 24 洋食を食べる際に用いる○○○とフォーク。上手に扱えますか。
- 25 戦国時代、中国地方に勢力を広げた○○○元就。「三本の矢の教え」でも知られます。
- 26 びっくりして、慌てる。さて、何を「食った」？



【答え】

A	B	C	D	E	F	G

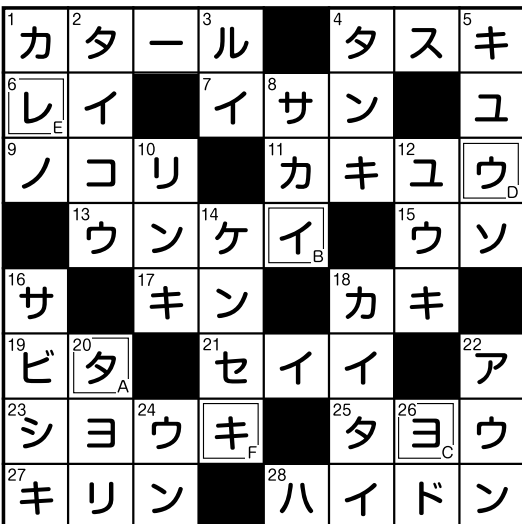
- 23 「海」の「苔」と書いて「何」読む？
- 20 □に共通して入る漢数字は？
- 18 □牛の一毛。□死に一生を得る。□に共通して入る漢数字は？
- 17 第二次世界大戦後、アメリカの統治下に置かれていた○○○○県。1972年に日本に返還されました。
- 15 熱帯低気圧が発達して、最大風速が秒速17・2メートル以上になったもの。
- 14 「心あてに折らばや折らむ○○○○のおきまとはせる 白菊の花」(凡河内躬恒)
- 12 「指図する人が多しと、かえつてまへうかなら」といふたとえです。
- 11 「心あてに折らばや折らむ○○○○のおきまとはせる 白菊の花」(凡河内躬恒)
- 10 「指図する人が多しと、かえつてまへうかなら」といふたとえです。
- 8 〇〇〇〇多くなって、船山に上る。
- 5 〇〇〇〇多くなって、船山に上る。
- 4 「指図する人が多しと、かえつてまへうかなら」といふたとえです。
- 3 〇〇〇〇多くなって、船山に上る。
- 2 「指図する人が多しと、かえつてまへうかなら」といふたとえです。
- 1 〇〇〇〇多くなって、船山に上る。

タテのヒント

前月号の解答と解説

【答え】

A	B	C	D	E	F
タ	イ	ヨ	ウ	レ	キ



★太陽暦

太陽暦とは、地球が太陽の周りを1周して元の位置に戻る周期(約365.2422日)を1年として定める暦のことです。古代エジプトで誕生(エジプト暦)し、改良が加えられ、現在では多くの国々が、1582年にローマ教皇が制定したグレゴリオ暦を採用しています。それ以前のユリウス暦では、西暦年数が4で割り切れる年は必ず閏年(366日)でした。グレゴリオ暦では、4の倍数であっても、100の倍数になる年は、400の倍数でない限り平年(365日)となります。

日本がこの太陽暦を使用するようになったのは、今からちょうど150年前の1873(明治6)年1月1日から。それまで使っていた太陰太陽暦(旧暦)は、月の満ち欠けを基にしながら、太陽の動きを加味して、月と季節が大きくずれていかなないようにした暦です。月が朔(新月)になる日を月の始まりと考え、各月の1日とします。再び朔になる日が翌月の1日です。朔から次の朔までは約29.5日なので、1か月は29日または30日になります。12か月ではおよそ354日なので、それを1年とすると、少しずつ日付が実際の季節とずれていきます。そこで、そのずれが1か月分になると、途中に「閏月」を入れて修正します。このため、太陰太陽暦の時代は、1年が13か月の年が19年に7回くらい割合でありました。

こうしたなか、日本は江戸時代末に開国し、明治時代になると、新政府と欧米諸国との交渉事が増えました。交渉や条約締結に際しては、日本も世界標準の太陽暦を使うのが合理的です。一方、近代化政策を進める当時の政府は財政難で、年俸制から月給制に切り替えた役人の給与の支払いに苦慮していました。明治6年は太陰太陽暦では閏月がある年。改暦しなければ、給与も1か月分余計に支払わなければなりません。しかし、改暦すれば、給与の支払いは1年12回で済みます。合理的で、財政的にも助かるとして、政府は旧暦の明治5年11月9日に、来る12月3日をもって新暦の明治6年1月1日とすることを宣言しました。改暦を急いだ理由としては、こうした事情もあったのです。

ヨコ

- 1 カタール
- 4 たすき
- 6 冷(れい)
- 7 遺産(いさん)
- 9 残り(のこり)
- 11 火球(かきゅう)
- 13 運慶(うんけい)
- 15 うそ
- 17 均(きん)
- 18 かき
- 19 びた
- 21 征夷(せいい)
- 23 勝機(しょうき)
- 25 多様(たよう)
- 27 キリン
- 28 ハイドン

タテ

- 1 枯野(かれの)
- 2 太閤(たいこう)
- 3 解(るい)
- 4 短気(たんき)
- 5 窮鬼(きゅうき)
- 8 堺(さかい)
- 10 臨機(りんき)
- 12 有機(ゆうき)
- 14 巻積(けんせき)
- 16 寂しき(さびしき)
- 18 解体(かいたい)
- 20 便り(たより)
- 22 あうん
- 24 運(うん)
- 26 淀(よど)